

平成30年9月6日
経済観光局競輪事務局

今後の競輪事業について

本市の今後の競輪事業について、平成30年5月29日付け広島市競輪運営委員会からの平成31年度以降の競輪事業に係る答申を踏まえ、基本方針を次のとおりとする。

1 基本方針

本市の競輪事業については、その運営を平成27年度から民間事業者へ包括委託したことによって、競輪事業基金及び繰越金残高の合計額が約21億円に達するとともに、平成30年度当初予算では3億円を一般会計に繰り出すことができるようになった。このことから、民間事業者への運営の包括委託によって、本市財政への貢献と老朽化した競輪場の再整備を一挙に達成する可能性が見えてきた。また、競輪場そのものについては、市民がスポーツ・レジャー等に多目的に利用できるイベント開催の場として開放したところ、その利用が拡大するなど新たな利用価値があることが明らかとなってきた。

こうした成果を踏まえるならば、競輪場は、市民のスポーツ・レジャー等の多様なニーズをも満たす充実した施設へと転換・存続させることとし、競輪事業は、平成31年度以降、本市財政に一層貢献するものへ変革することとする。

2 具体的な取組

基本方針を踏まえた具体的な取組は次のとおりとする。

- (1) 競輪場については、市民のスポーツ・レジャー等の多様なニーズに対応する複合的な施設に再整備し、それを有効活用することによって市民サービスの向上を目指す。
- (2) 競輪事業については、ミッドナイト競輪の開催等顧客ニーズに合致したレース運営を強化するとともに、命名権の導入や市民向けイベントの開催等事業資産を有効活用した関連事業に取り組み、一層の収入増加を目指す。

その際、ギャンブル等依存症に係る対策を確実に実施する。

- (3) (1)及び(2)を目指すにあたっては、民間事業者を活用した新たな包括委託方式を導入する。

3 平成31年度から平成33年度までの間の措置

新たな包括委託方式の導入に向け、再整備の規模、複合的な施設の内容、本市の負担等の検討が必要なことを考慮し、以下のとおり、現行方式による包括委託を継続する。

区 分	内 容
契約期間	平成31年4月～平成34年3月（3年間）
包括委託料	10億6,199万4千円（上限額） 〔平成31年度 3億5,184万6千円 平成32・33年度各 3億5,507万4千円〕 *1 実績額(年3億1,064万2千円)を基に、収入増加策として開催日数を増加させることによる業務量の増を反映。 *2 平成31年10月からの消費税率改定を反映
業者の公募・選定	プロポーザル方式（収益保証の提案を求める。）
スケジュール	平成30年9月 補正予算（債務負担行為）案を提出 平成30年11月 公募開始、平成31年1月 審査、同年3月 契約締結